

出合之像

矢作橋の西のたもとにある「出合之像」は、橋の架け替えに伴い一時的に移設・保管していましたが、この度8年ぶりに戻ってきました。これは、絵本太閤記の中で、日吉丸（後の豊臣秀吉）と蜂須賀小六が矢作橋の上で出会ったとされる逸話に基づき昭和63年篤志家からの寄付で設置されたも

のです。岡崎
といえば徳川
家康公と三河
武士団と思わ
れるかたが多



いと思いますが、伝説とはいえ、後に天下統一を図る豊臣秀吉の天下人となる足掛かりが、ここ矢作橋であったというのも、大変感慨深いものがあります。

移設に際しては「岡崎の西の入口を飾るモニュメントとしてまちづくりに役立てて欲しい」というご寄付の意志を受け継ぎ、市民はもとより、遠方からの来訪者にも親しんでもらえるよう植栽やベンチ、説明看板などを設置し、周辺整備を行いました。

矢作橋のたもとに建つ出合之像を眺めながら、戦国時代に思いを馳せ、歴史豊かな本市を代表する景観の一つとして守り続けていきたいと思えます。

市長室より

Next!
岡崎
次の新しい おかざき



岡崎市長

内田 康宏